個別施設計画

策定年月	H30.1

施設名	岡山芳泉高等学校	所在地	岡山市南区芳泉三丁目1番1号
敷地面積	43,674.00 ㎡	棟数	35　棟（計画記載対象　10　棟） ※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等は500㎡以上） ※公舎・寮は全て対象
延床面積	15,927.55 ㎡		
設置目的	高等学校教育のため		

【想定される自然災害】

予想震度6強　津波 －　浸水 0.3m以上～1.0m未満

建築規制	市街化区域、第一種中高層住居専用地域 建ぺい率60％、容積率200％				
ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量（2016年度）	電気	ガス	水道	燃料（－）	
	342,412 kwh	816 ㎥	6,146 ㎥	－ ℓ	
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし　敷地内貸付地 なし 岡山市避難所（土砂災害、洪水）協定による避難場所				

1 施設内建物の概況

名　称		格技場（1棟）1	第一号棟（2棟）2	第二号棟（3棟）3-1
築年（西暦）		1974 年	1974 年	1974 年
構　造		鉄骨 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階
建築面積		378.45 ㎡	1107.35 ㎡	810.77 ㎡
延床面積		435.10 ㎡	3,315.08 ㎡	1790.24 ㎡
主要な用途（室名等）		武道場	普通教室 生物実習室 音楽室	図書室 普通教室 物理教室
主要な設備（屋外を含む）		－	給排水設備 消火設備	空調設備 消火設備
利用状況		高	高	高
耐震性 ※1		有	有	有
躯体(ｺﾝｸﾘｰﾄ)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		適	適
	中性化 ※3		適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適	適
劣化状況（劣化が進んでいるもの）		屋根 外壁	該当なし	該当なし

※1 耐震性有：耐震診断の結果Is値≧0.6（震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い）又はS56.6以降に建築の建物 （S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外）

※2 圧縮強度：13.5N/mm2未満は不適　※3 中性化：築後65年時点でｺﾝｸﾘｰﾄの中性化が30mm以上の見込みは不適　※4 傾斜が有る場合は不適　※5 地盤沈下が有る場合は不適

名　称		自転車置き場（8棟）	第二号棟（10棟）3-2	第三号棟（11棟）6
築年（西暦）		1974 年	1975 年	1975 年
構　造		鉄骨　造　1　階	鉄筋コンクリート 造　4　階	鉄筋コンクリート 造　4　階
建築面積		765.00 ㎡	645.11 ㎡	925.12 ㎡
延床面積		765.00 ㎡	2,208.37 ㎡	2,691.20 ㎡
主要な用途（室名等）		自転車置き場	事務室 校長室 職員室	化学教室 普通教室 情報教室
主要な設備（屋外を含む）		―	電力設備（受変電設備） 消防設備（自動火災報知設備） 空調設備 消火設備	空調設備 消火設備
利用状況		高	高	高
耐震性　※1			有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		適	適
	中性化 ※3		適	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適	適
劣化状況 （劣化が進んでいるもの）		該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有：耐震診断の結果Is値≧0.6（震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い）又はS56.6以降に建築の建物　（S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外）

※2 圧縮強度：13.5N/mm2未満は不適　　※3 中性化：築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適　　※4 傾斜が有る場合は不適　　※5 地盤沈下が有る場合は不適

名　称		体育館（18棟）9	生徒会館（芳友会館）（25棟）12-1	第四号棟（特別教室）（26棟）13
築年（西暦）		1977 年	1979 年	1980 年
構　造		鉄骨　造　1　階	鉄筋コンクリート 造　2　階	鉄筋コンクリート 造　2　階
建築面積		1354.63 ㎡	369.11 ㎡	227.86 ㎡
延床面積		1664.94 ㎡	732.76 ㎡	455.72 ㎡
主要な用途（室名等）		体育館	食堂 集会所	社会科室 LL教室
主要な設備（屋外を含む）		空調設備 消火設備	－	－
利用状況		高	高	高
耐震性　※1		有	有	有
躯体(ｺﾝｸﾘｰﾄ)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適	適
	中性化 ※3	適	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適	適
劣化状況（劣化が進んでいるもの）		該当なし	該当なし	外壁

※1 耐震性有：耐震診断の結果Is値≧0.6（震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い）又はS56.6以降に建築の建物　（S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外）

※2 圧縮強度：13.5N/mm2未満は不適　　※3 中性化：築後65年時点でｺﾝｸﾘｰﾄの中性化が30mm以上の見込みは不適　　※4 傾斜が有る場合は不適　　※5 地盤沈下が有る場合は不適

名　称	生徒会館（芳友会館）（32棟）12-2		
築年（西暦）	1983 年		
構　造	鉄筋コンクリート 造　3　階		
建築面積	363.65 ㎡		
延床面積	363.65 ㎡		
主要な用途（室名等）	研修室		
主要な設備（屋外を含む）	－		
利用状況	高		
耐震性　※1	有		
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ　圧縮強度 ※2	適		
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ　中性化 ※3	不適		
長期使用の適否　建物傾斜 ※4	適		
長期使用の適否　地盤沈下 ※5	適		
劣化状況（劣化が進んでいるもの）	該当なし		

※1 耐震性有：耐震診断の結果Is値≧0.6（震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い）又はS56.6以降に建築の建物 （S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外）

※2 圧縮強度：13.5N/mm2未満は不適　※3 中性化：築後65年時点でｺﾝｸﾘｰﾄの中性化が30mm以上の見込みは不適　※4 傾斜が有る場合は不適　※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1)施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2)建物ごとの方針

区分	対応方針
格技場(1棟)1	設備等の定期更新を行う。
第一号棟(2棟)2	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
第二号棟(3棟)3-1	長寿命化改修を行う。
自転車置き場(8棟)	予防保全を図る。
第二号棟(10棟)3-2	長寿命化改修を行う。
第三号棟(11棟)6	長寿命化改修を行う。
体育館(18棟)9	設備等の定期更新を行う。
生徒会館(芳友会館)(25棟)12-1	予防保全を図る。
第四号棟(特別教室)(26棟)13	長寿命化改修を行う。
生徒会館(芳友会館)(32棟)12-2	予防保全を図る。

３．施設全体のスケジュール

（概　要）

1　設備等更新
　劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
2　長寿命化改修
　中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
　(26棟)2018年度設計、2019年度から施工
　(11棟)2020年度以降設計・施工
　(3棟、10棟)2022年度以降設計・施工

（単位:億円）

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
格技場（1棟）1	設備等の定期更新									LED	
第一号棟（2棟）2	設備等の定期更新			トイレ洋式化						LED	
第二号棟（3棟）3-1	長寿命化改修										設計・施工 7
自転車置き場（8棟）	予防保全	予防保全を図る。									
第二号棟（10棟）3-2	長寿命化改修										設計・施工 3棟に含
第三号棟（11棟）6	長寿命化改修				設計・施工 5						
体育館（18棟）9	設備等の定期更新									LED 床	
生徒会館（芳友会館）（25棟）12-1	予防保全	予防保全を図る。									
第四号棟（特別教室）（26棟）13	長寿命化改修		設計	施工 1							
生徒会館（芳友会館）（32棟）12-2	予防保全	予防保全を図る。									

４．概算費用

・総額　13億円(長寿命化改修等)

５. 変更履歴

変更年月	変更内容
H31.3	第一号棟（2棟）において、設備等の定期更新を追加
R7.3	格技場（1棟）、第一号棟（2棟）及び体育館（18棟）において、設備等の定期更新を追加
R8.3	・体育館（18棟）において、設備等の定期更新を追加 ・第二号棟（3，10棟）において、長寿命化改修のスケジュールを変更